

孫らへ9条だけは残したい

主婦

(大阪府 67)

今年ほど政治に不信感・憤り・挫折感を感じた年はなかった。

8月、安全保障法制反対集会に初参加。9月の京都でのデモでは同年代女性と話した。「『これだけは絶対ダメ』と90代の母が送り出してくれました」とのこと。

過去の事実や歴史から少しも学ばない政治家たちの答弁にはうんざりした。安倍晋三首相に対しイエスマンであり続けた自民・公明の国会議員の罪は重い。

こんな三流政治家を許しているのは、私たち国民が三流だからか。東京は2020年開催の五輪準

備にわいている。2年前の招致で首相が言った「汚染水の影響は完全にブロックされている」にはあきれと怖さを感じた。東北の復興も放射能汚染も、命にかかわる問題は今も解決していない。

そして沖繩の米軍基地問題。基地が本当に必要かを議論したい。

秋には安保法制廃止や憲法堅持を訴える55人分の署名を国会に送った。何の組織にも属さず、守るものも失うものもないババアの気のむくままの一年が過ぎる。若い孫たちに、9条だけは手をつけずに残してやりたい。何の因果か、安保法制の成立日9月19日は私の誕生日でもあった。